



なんぶ
議会だより

第71号

令和4年3月議会
発行/令和4年5月

法勝寺
川土手
夜桜

- 3月議会審議結果 ……2~5
- 挑戦者たちVOL.02 ……16
- 一般質問 ……6~15

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



令和4年度
当初予算

一般会計

賛成 10人
反対 3人

歳入・歳出 74億6360万円
賛成多数で可決

なんぶ暮らしの予算を審査

討論

反対

緑水湖周辺でのお金の使い方が、おかしい。緑水湖周辺の施設の存否も含めて今後の計画を出してくるということだったのに、計画もない段階で、里山テレワーク事業、コテージと研修館を改修する新年度予算が出てくる。これが、アフターコロナといいながら建物の改修工事費ばかりで住民の理解が得られるとは思わないので反対する。
しごとコンビニ事業も、予算額2231万円は、ほとんど人件費だ。費用対効果を考えた場合、2000万円の人件費を投入してどれだけ仕事のマッチングが出来るか大変疑問であり反対だ。

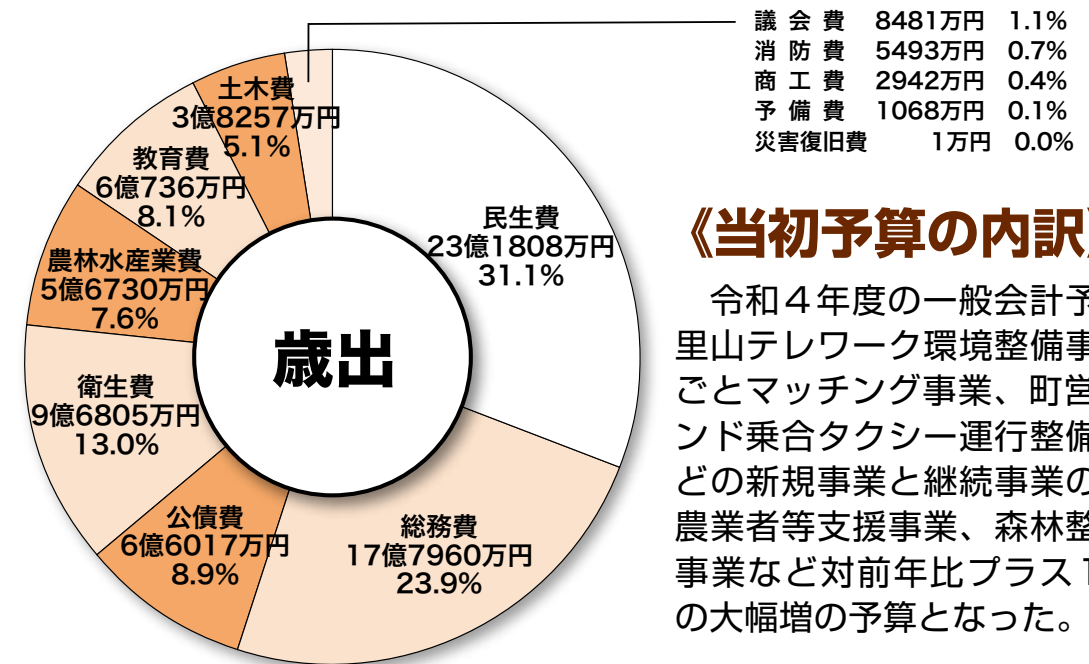
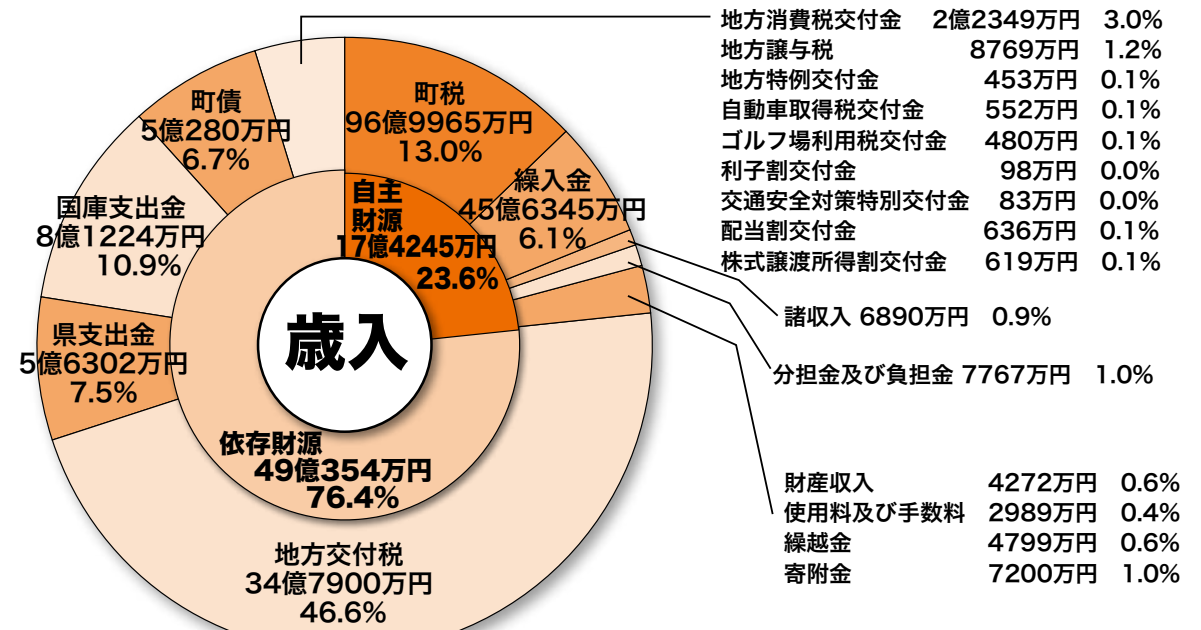
賛成

この予算は、何より今、継続中の新型コロナウイルス感染症対策のものであり、住民がワクチン接種を受けるのにとっても重要な予算である。光ファイバー整備事業は、他の市町村に遅れている本町にとっては大変重要な予算である。時代に取り残されない、時代とともに歩むため一日も早く完成させることだ。公共交通は、現在の町営デマンドバス運行を、AIデマンド乗合タクシー運行事業に変更し、進化させる計画で、住民が利用しやすいものに逐次見直していくものだ。
以上の点から賛成する。

議員名(議席番号順)	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和4年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

令和4年度当初予算一般会計の主な事業

- 新 里山テレワーク環境整備事業** 1億167万円
里地里山環境をベースに緑水湖研修センター及び虹の村コテージを改修し、都市部と遜色ない通信・働く環境を整備する。
- 新 町営 AI デマンド乗合タクシー運行整備事業** 936万円
現在の路線運行を行っている町営バスを、ドアツードアの乗合タクシー型に進化させ、より利便性の高い公共交通の仕組みを導入する。
- 新 しごとマッチング事業** 2231万円
しごとコンビニ事業で、短時間なら働ける中高年や子育て世代の希望に沿った短時間ワークシェアリングにより求職と求人をつなぐ。
- 新 光ファイバー整備事業** 2億6290万円
町内に光ファイバーの幹線整備が完了したので、引込み業務を行い、住民へのサービスを開始する。
- 汗かく農業者等支援事業** 3032万円
小規模農業者の生産性向上、新規販売作物の作付や販売促進を図り、地域の農地保全や農業の継続を支援する。今年度は、農業機械の購入補助を半額上限20万円まで行う。



《当初予算の内訳》

令和4年度の一般会計予算は、里山テレワーク環境整備事業、しごとマッチング事業、町営AIデマンド乗合タクシー運行整備事業などの新規事業と継続事業の汗かく農業者等支援事業、森林整備促進事業など対前年比プラス10.0%の大幅増の予算となった。

3月
定例議会

令和4年度3月定例議会が、3日から23日までの会期で開催された。令和4年度一般会計・特別会計予算、条例の制定、1件の人事案件、令和3年度一般会計補正予算など、28議案と1件の陳情請願、3件の議員発議案を審議した。結果1件の陳情請願を否決、1件の議員発議を否決し、他全ての案件を可決した。

陳情

陳情第1号 西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情

賛成少数で不採択

討論

反対 ごみ発電がどこまでできるのか。国の政策変更によりプラスチックが燃やせないというリスクも抱えている。全量リサイクルで考えるべきだ。

賛成 基本構想の方針ではまず市町村がごみの減量化に取り組むこととなっている。その後のごみ発電でCO2削減やコスト削減も可能となる。

議員名（議席番号順）	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
陳情第1号	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

追加

議案第29号 南部町職員の給与に関する条例の一部改正について

賛成多数で可決

討論

反対 公務員の給与を下げるということは、一般の産業にも影響してくる。地元で1000万円のお金が落ちなくなり、今の時期にやるべきことではない。

賛成 コロナの関係で多くの方の生活が大変で、社協の生活福祉資金を利用されている。そういう実態があり公務員の皆さんもこの引下げを受け入れてほしい。

議員名（議席番号順）	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
議案第29号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

議案第30号 南部町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

全会一致で同意

発議

発議案第2号 南部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

全会一致で同意

発議案第3号 令和4年度水田活用の直接支払い交付金に関する意見書

発議案第4号 最低賃金の見直しと中小企業支援策の拡充を求める意見書

賛成少数で否決

討論

反対 最低賃金1500円は、中小や零細企業にとっては難しい。会社を維持するために人員整理が必要となる場合や倒産の危機に陥ることも考えられる。

賛成 このことは労働者サイドが求めていることだ。私たちが決して1500円に上げたいとだけ言っていない。国の政策が変わることも併せて必要だ。

議員名（議席番号順）	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
発議案第4号	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

【令和3年度補正予算の審査結果】・・・ 全員一致で可決

●令和3年度一般会計補正予算

歳入歳出予算額から1385万円を減額し、80億1144万円とする。

主な事業

がんばれふるさと寄付金事業 399万円増額

(理由) 12月補正では7800万円の寄付額を想定していたが想定以上の寄付があり、係る経費を増額するもの。

高校生サークル国際交流事業 187万円減額

(理由) 北海道での研修を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大により事業実施が困難となったため。

有害鳥獣駆除事業 440万円減額

(理由) ワイヤーマッシュ等侵入防止柵の申し込みが当初予算を下回ったため。



ワイヤーマッシュ

●令和3年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出予算額に5524万円を追加し、13億5454万円とする。

一般被保険者療養給付費給付事業 5132万円増額

(理由) 5月から1月までの支給決定実績が令和2年度と比べ約6000万伸びており多くの支出が見込まれるため。

●令和3年度南部町農業集落排水事業特別会計補正予算

歳入歳出予算額に4万円を追加し、2億4796万円とする。

●令和3年度南部町公共下水道事業特別会計補正予算

892万円を令和4年度に繰り越した。

●令和3年度南部町太陽光発電事業特別会計補正予算

歳入歳出予算額に411万円を追加し、7061万円とする。

維持管理費 411万増額

(理由) 落雷により故障した発電設備の修繕費用について共済金額が確定したため。



パワーコンディショナー

●令和3年度南部町病院事業会計補正予算

収益的収入は776万円を追加し、25億178万円とする。
 収益的支出は286万円を追加し、24億1086万円とする。
 資本的収入は457万円を追加し、4億5231万円とする。
 資本的支出は457万円を追加し、5億7088万円とする。

南部町議会議長 景山 浩



日増しに暖かくなり、野山の花も咲き誇る春を迎えました。しかし、ロシアによるウクライナ侵略や、なかなか終息が見えないコロナ禍など、先が見通しづらい世情が続いています。さて、新年度の予算等を審議する令和4年3月議会定例会が3月3日から23日までの21日間にわたり開会されました。

執行部提案28議案、議員発議3議案、陳情1議案の合計32議案の審査を行い、執行部提案については全議案を可決、議員発議については2議案を可決、1議案を否決、陳情は1議案を不採択としました。

議会二日目には、南部町議会としてロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議を行い、戦争反対、平和への希求の意思を表明しました。

本定例会の中心となる新年度一般会計予算には、従来から行ってきた諸事業に加えて、社会のデジタル化に行政としても対応しようとする事業に多額の予算が計上され、賛否の中心的な争点となりましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。

初日には町長による令和4年度の所信表明が行われましたが、人口減少や地域活力の低下など、私たち南部町が抱える問題は年々その深刻度を増してきています。執行部による政策立案だけに頼るのではなく、より町民の立場に立った議会サイドからの政策提案が求められていると感じられる議会でもありました。

あなたの声を

町政に聞こう!



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に聞きます。

令和4年3月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間	質問事項
1 荊尾 芳之	30	1 農業振興
		2 新年度事業
2 埜田 光雄	30	1 移住定住施策
		2 林業施策
3 米澤 陸雄	20	1 買い物困難者への支援
4 板井 隆	30	1 人口減少対策
		2 特別障がい者手当
5 加藤 学	30	1 米価下落対策
		2 特別障がい者手当
6 仲田 司朗	30	1 過疎化に伴う今後の農業政策
		2 地域振興協議会
7 亀尾 共三	30	1 新型コロナウイルス利用者負担軽減を求める
		2 PCR検査の実施について問う
		3 補聴器の購入補助軽度を求める
8 眞壁 容子	30	1 公立保育園の維持
		2 ケア労働者の待遇改善
9 細田 元教	30	1 令和4年度の重点施策
		2 コロナ施策

農業振興

Q 農家支援策は

A 小型農業機械の整備を支援



荊尾芳之 議員

われる。1haから5haは、70戸で、兼業と退職後の就農者の専業もあると思う。5ha以上は11戸で、専業です。米価下落による減収状況は、1haで約23万円です。

り、農業全般が大きな被害を受け、農家の活動意欲の減退が懸念される。農家の方々が前を向いて元気に農業に取り組まれるように「汗かく農業者等支援事業」の拡充を図り、小型農業機械の整備に支援します。また、農業共済の農家負担掛け金及び収入保険の保険料の一部を補助する。

は、水田農業は町農業再生協議会が推進する水田収益力強化ビジョンを基に産地づくり等の転作や、JAと連携し需要に見合った米づくりの目標を立てて、水田農業を推進する。また、果樹農業やイチゴなどの施設園芸は、フルーツロード構想の計画づくりの中で、観光6次化を含めた生産振興策を検討し、果樹園の利用促進を図る。そして、山間部等の農業の条件不利地では、中山間地域の直接支払制度や町の地域奨励作物支援事業、エゴマなどを奨励し、農地の利用増進や担い手の育成などに支援を行う。

荊尾 南部町の農業の現状をどうか、町長の考えを問う。

荊尾 なぜ今回は、10a当たり4千円等の助成ではなく機械の購入補助なのか問う。

荊尾 農業施策を今後どう進めるか問う。

町長 農地の利用増進と担い手の育成、スマート農業等の新たな生産方針の導入を重要課題として取り組む。農地利用

は、水田農業は町農業再生協議会が推進する水田収益力強化ビジョンを基に産地づくり等の転作や、JAと連携し需要に見合った米づくりの目標を立てて、水田農業を推進する。また、果樹農業やイチゴなどの施設園芸は、フルーツロード構想の計画づくりの中で、観光6次化を含めた生産振興策を検討し、果樹園の利用促進を図る。そして、山間部等の農業の条件不利地では、中山間地域の直接支払制度や町の地域奨励作物支援事業、エゴマなどを奨励し、農地の利用増進や担い手の育成などに支援を行う。

町長 現金給付策をとった場合、小規模な場合は、1万円であったり2万円が経済貯金の中に入る。そのことで本当に農家が元気になってくれるか。今回、半分は本人負担で、3千万円を予算化しているの

で、6千万円の経済効果が見込まれる。米農家だけでなく草刈り等の機械は、農業では欠かせないものだ。

は、水田農業は町農業再生協議会が推進する水田収益力強化ビジョンを基に産地づくり等の転作や、JAと連携し需要に見合った米づくりの目標を立てて、水田農業を推進する。また、果樹農業やイチゴなどの施設園芸は、フルーツロード構想の計画づくりの中で、観光6次化を含めた生産振興策を検討し、果樹園の利用促進を図る。そして、山間部等の農業の条件不利地では、中山間地域の直接支払制度や町の地域奨励作物支援事業、エゴマなどを奨励し、農地の利用増進や担い手の育成などに支援を行う。

町長 8月の高温など、農作物の栽培には厳しい状況で収穫に大きな影響が出ている。さらに長引くコロナ禍の消費行動の減少で、主食米など農産物の買取価格が供給過多になり不安定だ。果樹では、富有柿が霜に加え、炭疽病の蔓延と収穫時の軟化症状により収穫量が激減した。

な。米農家だけでなく草刈り等の機械は、農業では欠かせないものだ。

な。米農家だけでなく草刈り等の機械は、農業では欠かせないものだ。

荊尾 農業の経営規模別に農家の実態をどのように掴んでいるか問う。

荊尾 令和4年度の農業対策、農家支援策をどのように講

じるか問う。

町長 町農業再生協議会が管理する水田情報システムから規模別の農家戸数を集計すると、米の作付が1ha以下の生産者は、約700戸で、兼業と思

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ

一般質問

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ

う。令和3年度は、突発的な気候変動やコロナ禍における消費低迷の社会変動によ



移住定住施策

Q 今後の展望を問う

A 空き家の提供や掘り起しを悩まな



埴田光雄 議員

埴田 現在の空き家の利用状況を問う。

町長 42件の空き家物件を借り上げ、95名の方に活用いただいている。毎月3件から4件の入居相談があり、令和3年度は29世帯70名の方から相談をいただき、平成30年度から現在までに51世帯、125名から入居の相談をいただいている。

埴田 移住者からの意見は把握しているのか問う。

町長 なんぶ里山デザイン機構の移住定住コーディネーターを中心に気軽に相談できる体制を整え、意見等の把握をしている。

子育て世代の方からは広い庭付きの一戸建てに安い家賃で暮らせるとか、地域との付き合いを心配される方へも、区長を紹介して頼れる方が分かり安心して

たと聞いている。また想像以上に地域の役目が多いことや、湿気の多さや隙間風、虫の侵入に困ったという意見もつかがっている。

埴田 移住定住施策の成果と課題を問う。

町長 成果としては、若い世代の方や子どもたちの声が聞こえるようになり集落が元気になったとか、空き家の所有者からはわざわざ帰ってきて管理をしなくてもよくなったという声を聞いている。

一方、入居の相談はあるが十分に紹介できる物件が足りていないことが課題である。

埴田 今後の展望を問う。

町長 移住者の方に案内できる選択肢を増やしていけるよう、空き家になりそうな物件を状態の良いうちに提供してもらえるように働きかけと掘り起しを引き続き行う。今後まだまだ増加すると予想

される空き家の活用方法について空き家になる前から考えていただけよう、アンケートや地域振興協議会の協力も得て、働きかけを工夫していく必要がある。

林業施策

Q 排除木伐採の補助を求める

A 私有財産なので出来ない

埴田 排除木伐採の補助を求める。

町長 林業従事者の高齢化や担い手不足に加え、森林所有者の森林への関心が薄れ、管理されない状況により住宅地等への影響が危惧される樹木が出てきていることは認識しているが、これはあくまでも私有財産なので行政が手を出せない。



危険木の現状

買い物困難者への支援

Q 高島屋撤退後の取り組みは

A 地域一体となって取り組む



米澤陸雄 議員

米澤 買い物困難者の支援について以前も質問をしたが方向性が見出されていないので再度質問する。

昨年の9月議会で買い物困難者に対してアンケートを実施するとの事であったが、最新のアンケート結果について問う。

町長 最終的にローズちゃん号を普段から利用されている31人の方から現状等をお聞きすることができた。

買い物の頻度については、週2回以上が17人、週1回以上が12人、それ以外が2人であった。購入される品物は、お菓子、パン等の嗜好品のほか肉や魚など日常の食生活に必要なものを購入されていた。

ローズちゃん号以外での買い物の手段は、自分で運転したり、家族の運転での買い物、バス利用、近所の方に買い物頼むと

いうケースであった。

米澤 ローズちゃん号の撤退に伴う買い物困難者への影響はどのくらいと考えているか問う。

町長 アンケート結果で日常生活に必要な食品を購入入されている結果があるので撤退の影響はあると考える。一方、買い物の手段としては、撤退の影響で毎日の食事に困るといった状況ではないが、買い物の手段が一つ消えることになる。また、商品を選んで購入する楽しさや、移動販売車を核とした出会いやコミュニティのつながりもあつたという意見もあつた。

米澤 9月議会においては、あのわ事業の買い物代行や移送サービスを行っている健康福祉課と、運営の委託先である社会福祉協議会との情報共有により、効果的な買い物支援について民間の協力体制も視野に入れながら地域振興協議会と連携し、地域一体となって協議

していきたいとのことであったが、その進捗状況について問う。

町長 現在、地域福祉計画の取り組みとしての移動支援の要望として、社会福祉協議会が地域振興協議会の聞き取りを行っている。この結果をもとに、社会福祉協議会が今後地域振興協議会と連携して買い物目的とした移動支援の取り組みにつなげると聞いている。民間事業者の取り組みとして、丸合西伯店とJOC A南部が行っている買い物代行事業では、サービスの周知、配送で鳥取県中山間集落見守り活動の協定を締結する予定としている。あのわ銀行の買い物代行や移送サービスについても、引き続き効果的な支援策となるよう見直しなど検討したい。

米澤 今、移動販売車がなくなつた後、買い物困難者の支援について明快な解決策にはなっていない気がする。

一つ、移動スーパー「とくし丸」という事業者を紹介したい。「とくし丸」は、全国展開を目指して事業展開をしている事業者である。全国の地域スーパーと連携しながら個人事業者を販売パートナーとして移動販



とくし丸

売を行うものである。「とくし丸」は個人事業者を募集しているので南部町でもこういう移動販売事業者を募集するのも一つの手ではないか。

町長 新たなビジネスモデルとして全国展開していることは知っている。そういうサービスをを行うには、起業マインド、事業者としてやってやろう、ぜひこの地域の高齢者たちを支えたいという志を持った若者が出てきたらそういうことを探していくということも大事だろうと思う。

人口減少対策

Q 今後のまちづくりは

A 住み続けることができる町づくり



板井 隆 議員

背景 人口減少社会を生き抜くため、本町の魅力を高め、様々な転入策や定住策、子育て支援に取り組んでいる。

板井 しごとコンビニ事業が開始される。実施内容と見通しについて問う。

町長 フルタイムで働くことを希望されない、18歳から中高年までの幅広い方を想定している。町内外事業所の生産性向上と働き手の所得向上につなげたい。

板井 町の活力の基本であり、地域経済を支える町内事業者の振興策について以下を求める。

① 小規模工事等取扱要綱を見直し、工事等発注金額の増額を求める。
② 起業促進奨励金制度は若者の挑戦に大きく貢献している。更なる拡充支援の充実を求める。

町長 ① 商工会の工業部会での検討結果をもとに協議することになっている。
② 町と商工会で共同策定した経営発達支援計画を通じて、発達支援策につなげたい。

板井 企業誘致の促進について、土地利用計画に着手する事業がある。具体的な施策を問う。

町長 企業誘致の促進も含め、今後の宅地事業にも応えられる効率的、効果的な土地利用について整備計画を立てる。

板井 サテライトオフィスの整備事業も計画されているが、具体的な事業内容を問う。

町長 国が進めるデジタル田園都市国家構想を活用し、緑水湖研修館をサテライトオフィスとコワーキングスペースとして、虹の村コテージをテレワークスペースとして改修する。

板井 一年が経過した公共交通のデマンド型バスの今後の対応について問う。

町長 デマンド型バスの仕組みをさらに進化させ、自宅近くまで迎えに行く仕組みを導入したいと考えている。

板井 令和4年度の人口減少対策への町長の方針と今後の施策についての考えを問う。

町長 町で生まれた方、住みたいと思う方が住み続けることができる町づくりを基本に、人口減少を緩やかにする。少子化対策、移住定住対策を講じながら、長期的には人口が減少しても安心して住み続けることのできる仕組みを町民やデジタルの力を借りて、作り上げたい。

機械の購入を支援することで、生産効率の向上をはかり、稲作に限らず果樹や畑作の収益性の向上と高収益作物等への新たな取り組みへ期待する。

加藤 柿の被害対策についての考えを求める。

町長 果樹園の防除支援を考慮している。併せて、収入保険の加入支援や果樹生産振興事業の活用を考えている。

米価下落対策

Q 10アール当たり4千円の補助を求める

A 南部町では効果的な方策ではない



加藤 学 議員

背景 令和2年から新型コロナウイルス感染症拡大により、米の消費が落ち込み、令和2年、令和3年と米価が下落した。

J A 鳥取県西部では昨年、米の第一次引き取り価格を30kgあたりで1千円から1.4千円も引き下げる決定をしました。

お米の収穫量を10a(1反)当たり平均で8俵取れるとして、1俵を60kgとすると、1俵で2千円から28千円下がった事になる。

8俵で480kgだと、1万6千円から2万2400円。

これを30a(3反)の田に直すと4万8千円から6万7200円の収入が減ることになる。

加藤 近隣自治体で米価下落の対策を取っているが、何故南部町では行わないのか。

米価下落対策として近隣自治体で行っている補助を行うことを求める。

町長 コロナ禍や自然災害で影響を受ける多様な農作物の生産活動を奨励することが重要と考える。

他の自治体が行っている米価下落対策は南部町の多くを占める小規模農家にとって効果的な方策ではないと考える。

販売増進を目指す生産活動に取り組み農家に対して、作物や規模を問わずに応援して行きたい。

加藤 南部町が行おうとしている米価下落対策はどの様に役に立つと考えているのか。

町長 農産物を問わず、多様な農業生産と販売活動の活性化に繋がり、生産意欲を向上させる施策と考えている。これまで対象外であった農業

特別障がい者手当

Q ホームページや南部町だより以外に周知を

A 保健師や医療機関、民生委員の力を借りて

加藤 ホームページや南部町だより以外に周知を行ったか？

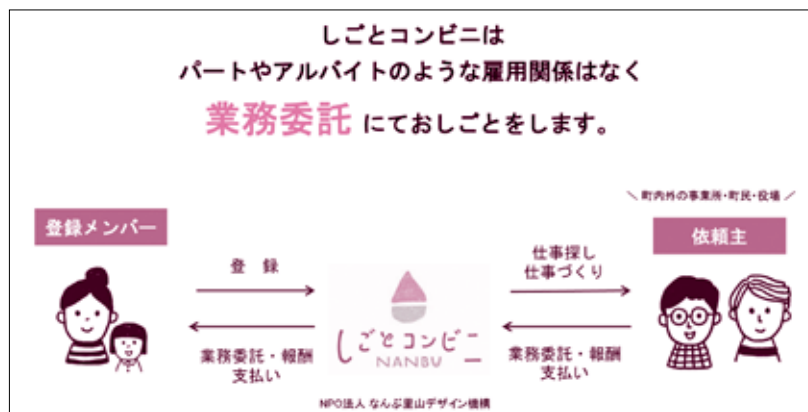
町長 ホームページや広報紙で保健師や医療機関、民生委員の力を借りて周知したい。

加藤 民生委員への働きかけを行ったのか。また、今後行う予定はないか？

町長 2月の民生児童委員協議会で特別障がい者手当について説明会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策として延期となった。3月の民生児童委員協議会で説明会を行う予定である。



緑水湖研修センター



しごとコンビニのしくみ

過疎化に伴う今後の農業政策

Q 中山間集落での、集落機能維持は

A 「人・農地プラン」の実質化を支援したい



仲田司朗 議員

仲田 農業従事者が高齢になり担い手がなく、米作農家では田を維持するだけで、なかなか経営がおぼつかず離農する方もいる。

このような状況をどう考えているのか。

町長 農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、農地の管理ができないなどの相談を受けている。農地の中で耕作条件がよい圃場については農業法人や専業の大規模経営農家に紹介し、農地中間管理機構を活用いただきながら、耕作放棄とならないよう集積、集約化を図っている。また、農業を始めたという相談もあり、新しい担い手となる人材が、少しずつではあるが増えつつある。新たな担い手となる方が円滑に就農できるようにしていきたい。

仲田 中山間集落で、年々人口減少をきたし集落機能が維持できない状況に陥った場合の手立ては考えているのか。

町長 国や県の指導により、将来方針を作成する人・農地プランの実質化への取組を開始している。5年後、10年後に耕作できるのか、出来ない場合、代わりに耕作する人や団体はあのかを集落内で話し合っている必要がある。話し合いの際には産業課が支援をする。



地域振興協議会

Q 地域振興協議会の在り方は

A 「防災と地域福祉」を進める

仲田 設立当初の地域振興協議会から、十数年経過しているが、どのように活動内容が変わってきているのか問う。

町長 各地域振興協議会とも役員の担い手や事業の継続性に苦慮していると聞いている。どの協議会も新たな担い手の発掘が必要だ。人口が減少している社会、さらには民間において定年延長制度が浸透しつつある中で、担い手確保という点で困難に拍車がかかっている状況だと聞いている。

どのように担い手を確保するか、事業継続するのか協議を行っていく重要な課題だと考えている。

仲田 町は今後の地域振興協議会の在り方についてどう思っているのか。

町長 町としては、昨年度から協議会との協働活動のテーマとして「防災と地域福祉」を揚げ連絡会等を通じて協議を重ねている。昨年7月豪雨においては、短時間で集中し

て豪雨があり道路陥没、土砂崩れ、道路や公共施設の被害が多く発生した。このような状況下で行政の初動対応だけでは対応できない。地域での日ごろの防災の取組がこれからです。重要になってきている。また、南部町地域福祉推進計画を効果ある計画にしていきたい。行政だけでは実現できない、暮らしに密着した小地域での福祉機能の充実に向け行政と協議会が協力して進めたい。

上下水道料

Q 使用料金の減免を求める

A 減免は考えていない



亀尾共三 議員

亀尾 新型コロナウィルス感染者の数は依然として減らず、本町で暮らす多くの家庭の収入は減少し、日々の生活に苦心をされておられるのが実情だ。本町は昨年4ヶ月間の水道基本料金の減免を実施し町民の方から喜ばれた声を聞いた。

再度の上下水道料金と合わせ、下水道料金の使用料金の減免を求める。それぞれの会計の歳入不足は当然発生すると思う。ついでに、一般会計から補填することを求める。

町長 町が行った令和2年4月から4ヶ月間の水道料金減免の背景は、日本政府が感染拡大を止めるために4月16日緊急事態宣言が発出されコロナ禍によって町民全体が自粛を求められ子どもから高齢者までが自宅で過ごす時間が多くなり、水道使用料もおおすと増加するこ

とが予測され、自粛生活における暮らし支援として、水道料金の減免をした。

現時点で町では令和2年4月前後の状況にはないので上下水道の減免、一般会計から水道会計補填は考えていない。

亀尾 町長は、上下水道それぞれ減免の考えはないと言われた。日常、自宅から離れる方、学童、自宅外で仕事をされる方は24時間の利用はないが、やはり上下水道の利用の頻度は大きいと思う。

上下水道料金負担軽減を重ねて求めておく。

PCR検査

Q PCR検査の無料化

A 無料化の制度は必要ない

亀尾 コロナウィルス感染拡大防止には、誰でも必要なときに自己負担なくPCR検査が受けられることが重要と考える。

県外はもちろん、県内でも感染になる可能性はある。自覚がなくても感染していたら家庭内感染の可能性があると専門家が意見を述べている。一日も早くコロナウィルスの終息を図るために、PCR検査を気軽に受けられるようにすることを求める。

これまで西伯病院でPCR検査を受けた人数、負担している人、負担の無かった人それぞれ幾らだったか。

3年度補正予算は3月31日まで無料での検査が出来るが、4月1日からコロナウィルス感染拡大が終わるとは到底思えない。引き続き無料で検査すべきだ。

町長 西伯病院のPCR検査の実施は2月24日までで1954件このうち1075件を外部発注した。検査に係る費用は1954件の内、保険診療と

したものは1765件自費診療のものは189件。

今年1月31日からの検査は2月24日192件。

PCR検査の補助金額は15万3千円。

県で無料検査所を設置し増設されてから、町独自で今後無料検査制度は必要ないと考える。

公立保育園の維持
Q 民設誘導の資料ではないか
A 数字の根拠はもう一度分析したい



眞壁容子 議員

背景

現在町が進める町立保育園の統合、定数削減、民間移管は、その理由となっているのが人口減と町の財政負担の軽減だ。児童福祉法は、国と自治体が、「児童の健全な成長に最善の利益が優先して考慮されること」を明記している。施設の老朽化、保育士の確保等、保育事業の実施に当たり当面する課題解決に向かう根本的な姿勢は、児童福祉法の原理に立つことが自治体に求められている。この町の子どもの育ちにとってどのような施設や制度が望ましいのか、子育てしやすい地域にするための施設形態や配置、運営はどうあるべきなのか、現場の保護者、保育者、住民の意向を踏まえた丁寧な議論と検討が必要だ。これまでの経過と議論を踏まえ、公立4保育園の維持を求める。

眞壁 町長は先の議会答弁で入所児童を90人も減らす定数削減には納得していないと伺っていたが、定数削減をどう考えるか。

町長 保育園の規模を決めるのは子ども・子育て会議なので、そこで慎重にご審議いただきたい。

眞壁 子ども・子育て会議で再度考えるとの答弁と聞いた。また、町長は「できれば町の保育園で安心してゼロ歳児の保育もできるような体制が一番望ましい」とも答弁している。それを実践するのが町長の仕事ではないか。

町長 小規模保育を否定しているわけではないが、理想は、2、3歳になったら保育園を動かさないといけないというような環境は望ましいとは思っていないということから、ゼロ歳児の話をしたつもりだ。

眞壁 建設費については町に補助金が来ないので民設の

ほうが有利だと財政審で説明しているが、町が議会に示した資料では、建設費を7億5千万円として、起債償還も含め総額では、15年間で約582万円、一年では約40万円しか変わらないが、それを認めるか。

町長 建設費についてはそう

眞壁 運営費についても年約一億円の差があるとしているが、交付税算定分は入っていない。算定分はいくらと考えるか。

町長 約7600万円余りになるのではないか。

眞壁 民設への誘導的な資料との疑問がある。もう一度差し戻すべきではないか。

町長 数字の根拠についてはもう一度分析したいと思うが大枠で間違っているという認識は持っていない。差し戻すというような乱暴なことはする気はない。

眞壁 子どもに最善の環境を与えるということから見れば、乱暴なのは町のやり方そのものだ。
認定こども園と保育園の違いは、

町長 保育園は、保育が必要な子どもに対し保育を市町村の責任で行うところだ。入所の手続きは町と保護者の契約だ。認定こども園は、設置者と保護者が契約をすることになる。

眞壁 すみれこども園は設置者が町だから町と保護者が契約するが、民設になれば保育料は誰が集めるか。

町長 契約をしているところが集めることになる。

令和4年度の重点施策
Q ウイズコロナ、アフターコロナの施策は
A 農業・デジタル・保健・医療・福祉の充実



細田元教 議員

細田 町長就任二期2年目、前年度より約7億円増すポイントがある予算を立てた。ウィズコロナ、アフターコロナに力を入れると表明し、そのなかで、本年度ではこれを絶対行いたい施策があると思う。この目玉施策は何なのか。

新型コロナウイルスの脅威に備えながらも、南部町で希望を持って農業に汗を流していただけるよう、農業機械の導入支援を小規模農家の方にも広げたいと考えている。

町長 まず一点目は、ウィズコロナの環境整備だ。オミクロン株の特徴である感染力の強さは、子どもと家庭感染を誘発させ、高齢者や福祉施設への拡がりを見せている。鳥取県の感染者はいまだ高止まり状態にあり、鳥取県をはじめ西部圏域自治体との連携を強化して、三回目のワクチン接種、そして、さらには小児用ワクチン接種の環境整備に努めなければならぬと考える。

また、長引くコロナ禍は、南部町の農業にも影を落としている。

岸田内閣が進めるデジタル田園都市国家構想に注目しながら、南部町の誇れる里山環境でのテレワーク環境整備、公共交通の乗車タクシー化を検討したいと考えている。
そして、現在整備中の光ファイバー網整備を進めることで、SDGsの理念である南部町民誰一人取り残さない、希望に満ちた社会に向けて自治体運営の基盤を今こそ構築していく。そのような時期だろうと考えている。

持った西伯病院が機能を維持し、そして発展するよう支援していく時期に来ている。また、若い世代が南部町で安心して子育てする環境整備として、保育園の統合や好評をいただく小さな公園づくりを進めていかなければならない。
また、「コミュニティー」の維持、中山間地対策に当たっては、地域振興協議会との連携が必須だ。超高齢社会、人口減少社会の中で南部町民がこれからも安心して暮らし続けるための道しるべとしての地域福祉推進計画を今後推進していく必要がある。

三点目は、暮らしを守り、次世代を育むまちづくりを進めたいと考えている。私たちの暮らしを保健・医療・福祉の中核として支えている。入院機能を

議会活動日誌

1月		会議・行事
7	金	広報常任委員会①
9	日	南部町消防出初式 南部町成人式
17	月	令和4年度町政要望会 広報常任委員会②
28	金	鳥取県西部町村議会議長会臨時総会 鳥取県西部広域行政管理組合議会臨時会議会 議会全員協議会

2月		会議・行事
4	金	南部町議会臨時会
7	月	南部箕苺屋広域連合議会運営委員会
14	月	令和4年度町政要望回答会
15	火	鳥取県後期高齢者医療広域連合定例会
18	金	鳥取県西部広域行政管理組合議会定例会
22	火	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会定例会
24	木	南部箕苺屋広域連合議会定例会

3月		会議・行事
2	水	定例議会 議会運営委員会
3	木	定例議会 全員協議会・本会議
4	金	定例議会 本会議
7	月	定例議会 一般質問
8	火	定例議会 一般質問
9	水	常任委員会
10	木	常任委員会
11	金	常任委員会
14	月	常任委員会
15	火	常任委員会
16	水	常任委員会
17	木	常任委員会
18	金	常任委員会
22	火	定例議会 常任委員会・議会運営委員会・全員協議会
23	水	定例議会 本会議
30	水	鳥取県町村議会議長会定期総会

やまの
建 築
Yamano Kenchiku



まさや
山野 雅也 さん
(能竹) 36歳

親(父)と3人の子どもの新たな挑戦

Q 起業の動機は？

一年前までは、サラリーマンとして米子市の会社で電車の設計業務をしていました。その中で沢山の仲間たちと打ち合わせをするなかで、人と人を繋ぐことが自分にとっての何よりのやりがいがあると強く自覚するようになり、起業しようと決意しました。



事業所内でのコーティング作業

Q これからの目標は？

全ての仕事に対して、良いも悪いも自分を磨き、やりがいのあり、多様な仕事にも“トライ”し成果を出すことができる。

様々な業種の仲間たちと新たな事業に挑戦することができている。

Q 仕事の魅力は？

まだまだコロナという目に見えない脅威で制限のある生活が続いていますが、菌やウイルスを家の照明だけで分解できる時代であり、そういった光触媒コーティング事業について認知してもらえよう取り組んでいきます。

四月から、子供たちも幼・小・中学と新たな挑戦をします。

現在は、大工、図面のCAD化などの仕事をしながら、光触媒コーティング事業に力を注ぎ、子供たちに負けたくないよう、将来は会社経営したいと考えています。

あとがき

今回の『議会だより』の発行の話ではなく、次回の発行の話をお願いします。

次回発行の『議会だより』から一般質問をYouTubeに上げるように計画しています。

今まで、南部町議会では町議会議員の一般質問は『議会だより』でしか紹介出来ていませんでした。

なんぶSANチャンネルでの放送もありましたが、都合、2回の放送でした。

よその自治体では一般質問を同時中継している所もあります。

南部町議会はまだまだそこまで至っていませんが、将来的にはまだ、発信する方法を模索しています。
この印刷物が過去のモノにならないように、発信をしたいと思っています。

(加藤)

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

加藤 学

荆尾 芳之

景山 浩

板井 隆

白川 立真

長束 博信

米澤 陸雄

塔田 光雄